

.....

館園名 : 仙台市科学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1990年09月 日

所在地

- ・ 〒981-0903 宮城県仙台市青葉区台原森林公園4番1号

公式サイト

- ・ <http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp>

設立主体

- ・ 仙台市

運営主体

- ・ 仙台市

設立目的

- ・ 幼児から高齢者までの生涯にわたる学習を支援し、創造性を培うための研修の場・学習の場・憩いの場として利用者の多様なニーズに応えるとともに、高度な機能を備えた総合的な科学館として、生活文化の向上に寄与することを目的に設立された。

展示概要

- ・ 全体を「自然史系」・「理工系」・「生活系」の3部門で構成し、事象の内に潜む理法（原理・法則）を理解させることを基本に据え、参加型・体験型の展示展開を主体に構成し、できるだけ実際に展示品に触れたり、動かしたりしながら考えさせ、理解させるような展示構成を取っている。また、屋外展示として「岩石園」・「自然観察園」・「みなみ広場」を設け、屋内展示と一体化させた展示構成を図っている。

活動概要

- ・ 利用者に生涯学習に関する情報の提供を行うと同時に、展示案内・実験指導・各種行事の運営に参加・協力する。

延床面積

- ・ 12,208㎡

全職員数（常勤職員）

- ・ 22名（2004年04月現在）

年間運営費

- ・ 約230,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 3,700点（2004年04月現在）

施設その他

- ・ 岩石園・自然観察園・みなみ広場

2. ボランティア活動 名称：仙台市科学館サイエンス・インタプリタ

活動目的・経緯

- ・ 活動目的：サイエンス・インタプリタ（ボランティア）を養成し、活用することによって、利用者（高齢者・障害者・児童生徒等）の生涯学習の推進を図るとともに、ボランティア自身の生涯学習の場としての充実を図る。
- ・ 経緯：社会教育施設活性化支援事業（市単事業）の一環として、平成6年度から実施している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 58名（2004年04月現在）
- ・ 男性：41名、女性：17名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年04月現在）

- ・ 部局名称：庶務係1名 事業係2名
- ・ 担当人数：常勤職員 3名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示物の案内・解説。
- ・ 特別展のインストラクター。
- ・ 科学行事への協力。
- ・ 生涯学習に関する情報の提供。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート ①仙台市科学館サイエンス・インタプリタ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1994年

◇活動人数

- ・ 58名（2004年04月現在）

◇活動内容

- ・ 展示物の案内・解説。

◇活動日

- ・ 休館日を除く毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室・備品・活動費（図書券を支給）。

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティアの活動希望日により設定。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 新規ボランティアと継続ボランティアとの交流。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 市政日より（3月）。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 平成16年度サイエンス・インタプリタ研修年間計画のとおり。
- ・ 平成16年度科学館サイエンス・インタプリタ養成講座日程のとおり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 無償・保険加入有り。

◇評価

- ・ 自ら生涯学習の一端として積極的に参加している方が多く、分野を問わず学習しようとする意欲が旺盛である。また、ボランティアの中には科学に精通している方が多数活動しており、利用者から好評を得ている。

◇課題と展望

- ・ 活動日がまちまちであることから、ボランティア同士の横のつながりに欠ける。また、専門家の集まりではないので来館者に対して、学芸員のように専門的な説明や解答を与えることが不可能な場合もあることから資質の向上を図ることが必要となる。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 仙台市天文台

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1955年02月01日

所在地

- ・ 〒980-0823 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘公園 1-1

公式サイト

- ・ <http://www.astro.sendai-c.ed.jp/>

設立主体

- ・ 仙台市

運営主体

- ・ 仙台市

設立目的

- ・ 天文台・プラネタリウム館・展示室を有する社会教育施設として、一般市民を対象に、天文知識の普及を図る。

展示概要

- ・ 最新の学説を取り入れた天体现象の説明装置や、天体カラー写真、天文解説用パネルなどがある。
- ・ 仙台藩が使用していた観測機器（渾天儀、象限儀、天球儀）は、他では見ることのできない収蔵品である。

活動概要

- ・ 星を見る会
施設に設置している41cm反射望遠鏡による天体の観望。毎月第1、第3金曜日の定期に実施するものと、必要に応じて天体现象に合わせた臨時のものもやっている。
- ・ プラネタリウム投影
一般市民を対象として天体现象や季節の星座の解説を行う“一般投影”、幼児を対象とした投影、小中学生を対象とした学習投影（仙台市内の中学生は悉皆）、プラネタリウム館内で音楽を楽しむことをメインとした投影。
- ・ 一般市民を対象とした講演会、教室
天文学普及講演会、天文の話、親子天文教室など。
- ・ 天文車による星を見る会
20cm屈折望遠鏡を搭載した天文車を使用し、施設を以外の場所に出向いて実施。一般市民を対象としたもの、野外活動の小中学生を対象としたもの、女性限定で宿泊を伴うものなど。
- ・ 理科教職員を対象とした天文教育に関する研修会
- ・ 天文科学に関する観測・研究並びに資料の収集・発行・展示・保管。
- ・ 理科教育における天体の観察や実習の指導、教材の研究。
- ・ 天文台・プラネタリウム活用天文教育指導書（小学校編・中学校編）の出版。
- ・ 天文に関する相談の受け付け。

延床面積

- ・ 1,309 m²

全職員数

- ・ 10名

年間運営費

- ・ 10,726,581 円（平成 15 年度、人件費を除く）

総資料点数

- ・ 16（ブロック）

その他

- ・ 天体観測条件の悪化や施設の老朽化などの理由により、施設を移転する事が決定。移転地は、仙台市青葉区錦ヶ丘 9 丁目。新しい施設は、平成 20 年夏に開館する予定。この移転事業は PFI 手法で進めており、設計-建設-運営は民間事業者が行う。なお、既存の施設は現在も業務を続けている。（閉館時期は未定）

2. ボランティア活動 名称：天文ボランティア“うちゅうせん”

活動目的・経緯

- ・ 1994年に仙台市天文台主催で初めて行った「天文ボランティア養成講座」の受講生が中心となり、天体望遠鏡による天体観望を通して天文の普及を行うことを目的として、1997年に結成。
- ・ 仙台市天文台が行っている施設を離れた星を見る会では対応ができない、子供会や町内会などの地域の団体を対象とし、自主的に天体観望会を実施している。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 36名（2005年）
- ・ 男性20名、女性16名（2005年）
- ・ 平均年齢40.3歳：男性43歳、女性37歳（2005年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：天文台 担当人数：常勤2名（他の担当と兼任）・その他（ ）名

活動の種類

- ・ ①天体観望会の実施

活動その他

- ・ 活動の運営は、ボランティアが独立して行っている。
- ・ 月に2回程度、会員が集まる例会を行う。
- ・ 施設はボランティアに対し、次の支援を行っている。
 - ① 会議室や天体望遠鏡の貸し出し
 - ② ボランティアの出動要請の取次ぎ
 - ③ 施設主催で行うボランティア養成講座の受講生に対するボランティアの紹介。

関連する出版物

- ・ 会員向け広報誌（不定期）

関連するHP

- ・ <http://www.geocities.co.jp/NatureLand/3569/>

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①天体観望会の企画・運営

◇活動開始年

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 36名(2005年)

◇活動内容

- ・ 子供会などを対象とした天体観望会の企画・運営の実施。

◇活動日

- ・ 不定期(要請がある時)

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 組み立て式望遠鏡やスライド投影機などの無償による貸し出し。

◇運営(シフト 等)

- ・ 1回の出勤に2名から5名程度。

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 天文台主催のボランティア養成講座において、受講生に対して“うちゅうせん”を紹介している。
- ・ 会員資格は、特に設定していない。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 施設からは支給していない。

◇評価

- ・ 施設からボランティアに対して表彰などは行っていない。

◇課題と展望

- ・ 活動できるメンバーが固定化してきている。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 仙台市富沢遺跡保存館 (地底の森ミュージアム)

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

- ・ 1996年11月02日

所在地

- ・ 〒982-0012 宮城県仙台市太白区長町南4丁目3番1号

公式サイト

- ・ <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/chiteinomori/>

設立主体

- ・ 仙台市

運営主体

- ・ 財団法人 仙台市市民文化事業団

設立目的

- ・ 富沢遺跡を保存し、かつ、公開するとともに、旧石器時代に関する資料を収集し、保管し、及び展示することにより、郷土の歴史及び文化に関する教養の向上並びに旧石器時代に関する調査研究に資すること。

展示概要

- ・ 地底の森ミュージアムは「旧石器時代」を中心としたテーマミュージアムです。ここでは富沢遺跡から発掘された2万年前の旧石器時代の遺跡面を現地で保管し公開するとともに、発見された資料などから当時の環境と人類の活動を生き生きとよみがえらせる展示をしています。

活動概要

- ・ 1. 展示事業 (・常設展示の維持・企画展示)。
- ・ 2. 学校教育との連携事業。
- ・ 3. 生涯学習関連事業。(・市民文化財研究員の育成・ボランティア育成・友の会助成など)。
- ・ 4. 調査・研究事業
- ・ 5. 図書・印刷物の刊行事業。

延床面積

- ・ 2,743㎡

全職員数 (常勤職員)

- ・ 18名 (2004年12月現在)

年間運営費

- ・ 145,008,000円 (2003年度)

総資料点数

- ・ 点 (2004年09月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：地底の森ミュージアム ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 当館において、1年間“市民文化財研究員”制度に参加した方で、それを修了した方にボランティア登録希望をとり、登録。館事業の幅広い活動が目的。
- ・ ボランティア登録後、半年間の研修をへて、ボランティアとなる。
- ・ ボランティア活動は、原則的に自主性に任せてあり、活動曜日や時間、日数などは特に規定していない。登録は年度単位で、年度毎に更新手続きを行っている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 44名（2004年12月現在）
- ・ 男性：20名、女性：24名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：学芸
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（サブ担当）1名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①解説ボランティア、②イベントボランティア。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

- ・ 「市民文化財研究員活動報告書」1～8
- ・ 「仙台市富沢遺跡保存館調査研究所」4.5

関連するHP

- ・ <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/chiteinomori/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート ①展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 44名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 常設展の展示解説。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティア会、懇談会（幹事対象）を月1回、月例会（全員対象）を毎月第1日曜日。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年3回の養成講座。
- ・ 年1回の研修旅行。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ ボランティアに登録すると無料で入館することができるなど特典があるため、登録のみして
おいて実際にボランティア活動を行わない人が多い。

◇その他

- ・

活動個別シート ②イベント補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1997年

◇活動人数

- ・ 44名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 体験教室・講座などでの受付・誘導など。

◇活動日

- ・ イベントのある日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 年3回の養成講座。
- ・ 年1回の研修旅行。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ イベントは月に1~2回という数なので、あまり負担にならないらしく、比較的集まりがよい。
これは講師ができるくらいまでレベルアップしてほしい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 仙台市博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1961年10月10日

所在地

・〒980-0011 宮城県仙台市青葉区川内26番地<仙台城三の丸跡>

公式サイト

・<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/>

設立主体

・仙台市

運営主体

・仙台市

設立目的

・歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として設置。

展示概要

・約1万3千点の伊達家寄贈文化財をはじめ、仙台地方の歴史・文化史・美術工芸資料を中心におよそ7万6千点の収蔵資料の中から、年4回の展示替えを行い、随時約1200点を展示する（常設展）。

活動概要

- ・国内外から資料を借用し、紹介する特別展の開催。
- ・体験型展示室プレイミュージアムの運営。
- ・収蔵品の中からテーマを絞って紹介する企画展の開催。
- ・博物館の情報を提供する情報資料センターの運営。
- ・年4回の展示替えを行い随時約1200点を展示する常設展の実施。
- ・各種講演会・講座・イベントの実施。
- ・図録、年報、館だよりなどを発行。

延床面積

・10,833 m²

全職員数（常勤職員）

・33名（2004年12月現在）

年間運営費

・346,931,000円（2003年度）

総資料点数

・76,500点（2004年3月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：仙台市博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・1997年、生涯学習の高まりの中で市民のために開かれた博物館をめざし、市民が市民に開設していくという形を取りながら、生涯学習の輪を広げていく目的で結成。1998年からは、「三の丸会」という組織を作り、博物館の指導・助言を受けながら自主的な活動を行っている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・97名（2004年12月現在）
- ・男性：40名、女性：57名
- ・平均年齢58.3歳：男性63.5歳、女性54.6歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・部局名称：学芸室
- ・担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・団体向けガイダンス（ビデオ上映と概要説明）。
- ・少人数向け常設展展示資料解説。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・毎年20人程度の新規募集を行い、館が5回のボランティア養成講座を実施する。
- ・8～9人で班を組織し、班単位で2週間に1度活動する。
- ・5つの専門部（運営、資料、英語、研修、会報）があり、会員はいずれかに属し活動する。
- ・会の運営は月1回の役員会で決定し、全体に関わるような時候は年1回の総会で決定する。

関連する出版物

- ・「三の丸会会報」（年3～4回発行）
- ・「仙台市博物館ボランティア三の丸会5周年記念誌」（2002年5月）

関連するHP

- ・<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/info/volun.html>
仙台市博物館HP 博物館ボランティアからのお知らせ

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①常設展展示資料解説

◇活動開始年（西暦）

- ・1997年

◇活動人数

- ・97名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・10人以上の団体へビデオを利用したビデオガイダンスと博物館の概要説明を行う。
- ・少人数の観覧者へ常設展の展示資料解説を行う。

◇活動日

- ・休館日を除く毎日。活動時間は10:00～15:00。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ボランティア控室（友の会、アシスタントと共用）があり、備品ロッカー・月予定表・ホワイトボードを設置している。

◇運営（シフト 等）

- ・12班に分かれ、1日8人程度でガイダンス及び解説を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・役員会に出席した班長が当番日の朝のミーティングで会員に伝える。その他、活動日誌を毎日記入する。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・毎年2月の初めから、館だより、ホームページ、市政だより等に募集要項を掲載し募集を行う。（約20人）

- ・資格：20才以上で仙台の歴史・美術に興味のある方。応募者多数の場合は抽選。

- ・1年毎の更新。平成17年度募集分から更新は最長で5年。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・外部講師・職員による養成講座5回。教養講座1回。後は自主研修。

- ・その他、三の丸会研修部が主催する研究会が年8回程度ある。（会員が講師）

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・無償ボランティア（交通費、昼食は自己負担）。

- ・仙台市が加入する市民活動保険制度の適用。

◇評価

- ・ボランティアが5年終了時に修了証または感謝状を贈る予定（平成17年度募集から）。

◇課題と展望

- ・年々人数が増加してきたことから、平成17年度募集分から更新最長5年制を導入することになった。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 仙台市歴史民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1979年11月03日

所在地

・〒983-0842 宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-7

公式サイト

・<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/rekimin>

設立主体

・仙台市

運営主体

・財団法人 仙台市市民文化事業団

設立目的

・小規模小人数ながら、庶民文化の資料館としての役割を果たしつつ、仙台の過去、現在、未来を正しく伝え教える資料館として設立。

展示概要

・常設展示は、仙台町場の暮らし、仙台地方の農具と農家の暮らし、旧歩兵四連隊コーナー、体験学習室の4つのコーナーにわけて展示している。

活動概要

- ・16年度の活動として、特別展「藁の民俗」をはじめとして企画展2回の実施。
- ・季節展示として花見・仙台七夕・盆行事・月見・正月と小正月などのミニ企画展の実施。
- ・この他、講演会や講座など6回、体験学習など5回実施している。

延床面積

・1,271.37 m²

全職員数（常勤職員）

・7名（16年12月現在）

年間運営費

・27,537千円（2003年度）

総資料点数

・51,848点（16年3月現在）

施設その他

・資料館は1874年（明治7年）に建築された旧陸軍第二師団歩兵第四連隊兵舎の一棟で、宮城県内最古の木造洋風建築である。昭和53年6月に仙台市有形文化財に指定されている。

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

・

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

・
・
・
・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・館内のボランティア活動の組織はない。下記の館主催行事がある時のみ、館外組織のボランティアを依頼している。

- ①「ゴールデンウィークおもしろ昔たいけん」の時、仙台市榴ヶ岡市民センターの榴岡公園歴史ボランティアや中高生のジュニアリーダーのボランティア参加を依頼。
- ②「紙芝居上演」の時、水の森おはなしの会「ドロップス会員」のボランティア参加を依頼。

.....

館園名 : 仙台藩祖伊達政宗公霊屋瑞鳳殿

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1980 年 01 月 30 日

所在地

・ 〒980-0814 宮城県仙台市青葉区霊屋下 23-2

公式サイト

・ <http://www.zuihoden.com>

設立主体

・ (財) 瑞鳳殿

運営主体

・ (財) 瑞鳳殿

設立目的

・ 仙台藩以来の文化的遺産である瑞鳳殿、感仙殿、善応殿の三霊屋及び経ヶ峯内伊達家墓所の保存整備並びに伊達家霊廟等に関する学術研究を行い、併せて当該施設の鑑賞の機会を提供し、もって文化の向上に寄与する。

展示概要

・ 霊屋遺跡出土品等への保存管理と調査研究。常設展示を行う。

活動概要

・ 霊屋 (瑞鳳殿、感仙殿、善応殿)、資料館の公開と展示。各種解説。記録映画放映、パネル展示。DVD ソフトの制作。インターネット資料館の開設。

・ 博物館実習生の受け入れ。売店の充実。

延床面積

・ 7,000 m² (屋外総面積)

全職員数 (常勤職員)

・ 7 名 (2005 年 1 月現在)

年間運営費

・ 149,308,000 円 (2003 年度)

総資料点数

・ 約 200 点 (年 月現在)

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：「ぐるーぷ・よっこり」

活動目的・経緯

・シニアによる観光ガイドによって、仙台を訪れる人々に仙台を正しく理解し、認識して頂ける様に務める。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 4 名（ 年 月現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 瑞鳳殿や、仙台市内の名所・旧跡をガイドする。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 例会（勉強会）の開催。

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://home.att.ne.jp/omega/zuihoden/yoltuko.htm>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・ 特定非営利法人シニアのための市民ネットワーク仙台「略称シニアネット仙台」に数ある活動グループの一つ。

活動個別シート① 活動名：観光ボランティアガイド

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 4 名（ 2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 瑞鳳殿のガイド。日時指定の場合、要予約。

◇活動日

- ・ 基本的に、土曜・日曜。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 東北歴史博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1999年10月09日

所在地

- ・ 〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1

公式サイト

- ・ <http://www.thm.pref.miyagi.jp>

設立主体

- ・ 宮城県

運営主体

- ・ 宮城県

設立目的

- ・ 1974年に開館した東北歴史資料館を継承発展させ、宮城・東北の歴史・文化を学び、世界に発信することを目的とした人文系博物館。

展示概要

- ・ 総合展示室：旧石器時代から近現代まで、東北地方の歴史を9つの時代に分けて紹介。
- ・ テーマ展示室：館蔵資料をテーマに沿って展示する。
- ・ 映像展示室：民俗行事の映像を展示する。
- ・ こども歴史館：映像や体験で歴史に親しむ。
- ・ 今野家住宅：移築復元した江戸時代の民家。

活動概要

- ・ 特別展示（年4回）、館長講座、ギャラリートーク、博物館講座、体験講座、多賀城巡りなどを開催。
- ・ ミュージアムショップにて、展示図録、紀要等を販売。

延床面積

- ・ 15,446.11 m²

全職員数

- ・ 34名（臨時職員を除く）

年間運営費

- ・ 419,802千円

総資料点数

- ・ 約57,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：東北歴史博物館ボランティアの会

活動目的・経緯

- ・ 生涯学習活動における自己研鑽の場と機会を、敷地内に移築・復元された江戸時代中期頃の住宅で提供している。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 45名（2004年）
- ・ 男性：26名、女性：19名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：企画部企画班 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①見学者への応対と説明、②住環境の維持、③体験教室の準備・指導補助。

活動その他

- ・ 毎年10月中旬に実施する「博物館まつり」において、古民家今野家住宅を会場に、ボランティア企画「体験昔の遊び」を企画運営。
- ・ 毎日（休館日を除く）。
- ・ ボランティア室あり。
- ・ 月2回の活動日を申告してもらい、調整。
- ・ 東北歴史博物館ボランティアの会あり。
- ・ 2月頃に、新聞・HP・館内告知等で、募集。
- ・ 資格：18歳以上。
- ・ 事前研修受講者から選考。
- ・ 定年制なし。年度ごとに更新。
- ・ 事前研修、年10回の研修講座あり。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 特別展・常設展の観覧料無料。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①見学者への対応と説明

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 45 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 古民家「今野家住宅」での来館者への説明と対応。

◇活動日

- ・ 休館日を除く、午前 9 時半から午後 5 時まで (冬期は 4 時まで)

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり

◇運営 (シフト 等)

- ・ 月 2 回の活動日を申告してもらい、調整。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 東北歴史博物館ボランティアの会あり。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 2 月頃に、新聞・HP・館内告知等で、募集 (若干名)。
- ・ 資格：18 歳以上。事前研修受講者から選考。
- ・ 定年制なし。年度ごとに更新。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修、年 10 回の研修講座あり。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入。
- ・ 交通費・食費自弁。
- ・ 特別展・常設展の観覧料無料。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②住環境の維持

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 45 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 古民家「今野家住宅」における囲炉裏の管理と清掃等。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室あり

◇運営（シフト 等）

- ・ 月 2 回の活動日を申告してもらい、調整。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 東北歴史博物館ボランティアの会あり。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 2 月頃に、新聞・HP・館内告知等で、募集。
- ・ 資格：18 歳以上。事前研修受講者から選考。
- ・ 定年制なし。年度ごとに更新。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修、年 10 回の研修講座あり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入。
- ・ 交通費・食費自弁。
- ・ 特別展・常設展の観覧料無料。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③体験教室の準備・指導補助

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 45 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 教育普及事業に関わる体験教室の準備・指導補助を行う。

◇活動日

- ・ 年間 10 回の体験教室の準備と指導補助 (毎月第 2 土曜日)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室あり

◇運営 (シフト 等)

- ・ 希望者を募るかたちで実施 (毎回 2~3 名程度)。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 東北歴史博物館ボランティアの会あり。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 2 月頃に、新聞・HP・館内告知等で、募集。
- ・ 資格：18 歳以上。事前研修受講者から選考。
- ・ 定年制なし。年度ごとに更新。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修、年 10 回の研修講座あり。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員ボランティア保険に加入。
- ・ 交通費・食費自弁。
- ・ 特別展・常設展の観覧料無料。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

館園名 : 迫町歴史博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 2000年10月29日

所在地

- ・ 〒987-0511 宮城県登米郡迫町佐沼字内町 63-20

公式サイト

- ・ <http://www.l-net.ne.jp/h-rekihaku/>

設立主体

- ・ 迫町

運営主体

- ・ 迫町

設立目的

- ・ 町民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため。

展示概要

- ・ 原始・古代から江戸時代までの迫町の歴史を展示する常設展示と企画展示とで構成されます。

活動概要

- ・ 小学校等の総合学習に合わせた展示。
- ・ 体験学習や博物館実習を行っている。
- ・ 特別展に関連した講演会を実施している。

延床面積

- ・ 926.50 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 5名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 30,118,880円（2003年度）

総資料点数

- ・ 3,000点（2004年12月現在）

施設その他

- ・ 博物館の他に明治時代以降亙理氏が住んでいた旧亙理邸（古鹿山房）やこの地方で使用されていた民具を展示している民具展示館があります。

2. ボランティア活動 名称：旧亙理邸案内

活動目的・経緯

- ・ 平成 15 年 12 月より旧亙理邸の案内及び展示品等の説明を土日をお願いしている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 9 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性：3 名、女性：6 名
- ・ 平均年齢 64 歳：男 65 歳、女性 63 歳

ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：迫町
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 亙理低の案内及び説明。
- ・ 各種行事への協力。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://>
- なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし

活動個別シート 活動名：①展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 9 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 旧亙理邸の展示解説を行う。

◇活動日

- ・ 毎週土、日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 特になし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 午前中と午後に分け、2 名 1 組で解説を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 情報交換会を随時実施。
日誌を記入している（入館者、連絡、申し送り等）。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ ホームページ、パンフレット等で随時募集している。
・ 資格等の制限はない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ボランティアに対し博物館の学芸員が講師となり、年数回展示品に関する研修会を実施している。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している。（費用は館負担）。

◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

- ・ 活動やメンバーが固定化しており、新しい展開が難しい。
人数が少なく、館の行事等への参加協力体制がなかなかできない。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 丸森町蔵の郷土館 齋理屋敷

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1988年07月01日

所在地

・〒981-2165 宮城県伊具郡丸森町字町西 25

公式サイト

・<http://www.marumori.net/sairi.htm>

設立主体

・丸森町

運営主体

・財団法人 阿武隈ライン保勝会

設立目的

・齋理屋敷の収蔵品、町の歴史及び観光地、高齢者活動センターの生産活動、町の伝統文化や文化財など、幅広く紹介するほか様々な普及活動を行い地域における中心拠点として活動を展開する。

展示概要

・六つの蔵と屋敷に豪商の暮らしを物語る豪華な調度品や商売の道具などの様々な品をテーマ別に展示。

活動概要

・季節ごとに企画展を開催。
・伝統工芸体験講座、その他特別講座の開催。

延床面積

・1,558.21 m²

全職員数（常勤職員）

・4名（2005年1月現在）

年間運営費

・26,600,000円（2003年度）

総資料点数

・6,500点（1978年7月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：丸森町ボランティア観光ガイドの会

活動目的・経緯

- ・丸森を訪れる観光客に「もてなしの心」で情報を提供し、温かいふれあいによって《再び訪れて見たい丸森》をつくるため、会員相互の連携を図るとともに、相互の研究を通じて丸森の観光の振興に寄与することを目的とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 13名（2004年4月現在）
- ・ 男性：6名、女性：7名
- ・ 平均年齢64歳：男性65歳、女性63歳

ボランティア担当職員（2004年4月現在）

- ・ 部局名称：(財)阿武隈ライン保勝会
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・丸森町観光施設の団体予約利用者に対する案内サービス。
- ・丸森町観光施設の随時利用者に対する日・祝日の案内サービス。
- ・(財)保勝会等主催の季節イベントの参画。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・研修会の開催。
- ・ガイドの養成。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①案内サービス（ガイド）

◇活動開始年（西暦）

- ・2004年

◇活動人数

- ・13名（2004年4月現在）

◇活動内容

- ・常設展・企画展の展示解説を行う。

◇活動日

- ・日曜・祝日を中心に活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ボランティア活動費として年間300,000円計上している。

◇運営（シフト 等）

- ・4班にわかれ、1日2名程度で解説を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・展示替え（企画展開催）のつど、研修もかねて情報の交換等を行っている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・募集は随時、その他制限は特になし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・事前研修（職員による養成講座）、常設展示替えに伴う研修（企画展開催のつど）。
- ・先進地視察研修の実施（年1～2回）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・交通費のみ支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・活動人数が少ないので、ガイドの募集、養成講座を行う。

◇その他

- ・最近、展示解説をお願いしたいというお客様が増え、ボランティアガイド依頼の予約が増加している。